

請願第 14号

令和5年12月15日

川崎市議会議長 青木功雄様

多摩区

多摩川丸子橋硬式野球場の

利用改善を求める会

代表

ほか 1,300名

多摩川丸子橋硬式野球場の利用改善に関する請願

請願の要旨

現在、事実上1団体5チームによって独占使用されている多摩川丸子橋硬式野球場を、本市主導による民主的な運営方式に改めることによって、市立高等学校の試合会場不足を解消してください。

請願の理由

私たちは、市内の中学生硬式野球クラブチームに所属する多くの中学生が、地元川崎の市立高校に進学し、硬式野球を続ける環境を整えてあげたいと考えております。現状の市立高校野球部の練習場所は、以下のとおりです。

- 1 他の部活動と併用して学校の校庭の限られたスペースを使用。
- 2 丸子橋硬式野球場の使用を希望しても、1団体5チームによって独占され使用できない。

以上のように十分な練習場所と時間を確保できていない状況であると考えております。

更に大きな課題として土曜日、日曜日のほとんどは市外の他校等に遠征をする状況で、遠征費に係る保護者の負担は私立高校の硬式野球部並です。加えて

遠征時の事故等のリスクもあり、選手や指導者たちの時間的ロスも多く、そのために練習時間等も少なくなってしまうのが現状です。特に夏の神奈川県の子選シーズンに入ると、県内の高校同士では練習試合が組めないため、毎週土日には県外に繰り出すしかなく、指導者、選手、保護者の負担となっております。

こうした事情を鑑み、地元川崎の子供たちが、特に市立高校の野球部の生徒たちが、安心して硬式野球に打ち込める環境を市内に整備する必要があると考えます。また、高津区選出議員によって、実際に行われたアンケート調査からも、多くの父兄が今年度中に試合会場の確保を望んでいるということも承知しております。

しかし、市内に新たな硬式野球場を新設することが困難なのは、十分承知しております。先の議会で上平間球場を硬式野球場として整備する請願が提出されましたが、建設緑政局として困難であるとの見解が示され、仮に改修工事が行われたとしても、多くの父兄が望む今年度中の試合会場確保は実現不可能であります。

したがって、私たちは多摩川丸子橋硬式野球場（旧日本ハムグラウンド）と、隣接する天神第4球場の運営方式改善を、強く請願するものであります。

現在、同球場一帯はたった4チームの中学硬式野球チームによって、ほぼ独占使用されております。これは今まで本市が施設利用の告知をおろそかにしていたことも原因の一つではありますが、この1団体5チームによる独善的かつ排他主義的な運営により、新規参入が阻害されてきたことが、主たる原因であると考えられます。

請願の主旨は、この1団体5チームによる独善的かつ排他主義的な運営方式を全廃し、現在試行運用されている「川崎・上丸子天神町野球協議会」の数多い失敗から学んだ新たな組織、「川崎・上丸子天神町ベースボール協会」（仮）を立ち上げ、上平間球場の改修工事を行うことなく、市立高等学校の試合会場不足を、令和6年度中に解消しようとするものであります。

なお、請願の主旨から土曜日、日曜日、祝日は市立高校野球部が優先であるものの、一部に一般開放枠も残し、公平・公正な抽選方式によって、現在使用の5チーム、加えて新規小学生チーム、更に一般成人軟式野球チームにも利用

の機会を捻出し、その民主的な運営システムにより、利他の精神で、多くの野球人に喜ばれる公共施設を目指します。また、多摩川丸子橋硬式野球場を利用した「川崎野球協会中原支部市民大会」の開催は、近年減少傾向にある参加チーム数に、一定の歯止めが掛かるものと思われま

す。是非、白球を追い続ける地元川崎の高校球児たちの願いをかなえていただきますよう、一日も早い請願の実現をよろしくお願いいたします。

紹介議員

宗 田 裕 之